

イースターのお話

By Anca Martin

Friendship International 2021

「愛」とはなんでしょう？あなたは愛をどう定義しますか？

1984年に Foreigner というバンドが、“I want to know what love is.” (知りたいんだ、愛とは何なのか) という曲を発売しました。サビはこんな感じです。

知りたいんだ、愛とはなんなのか、僕に示してくれないか。
感じたいんだ、愛とはなんなのか、君なら教えてくれるよね。

歌詞から明らかなように、この曲を書いた人は、愛が何なのか分かっていませんが、それでも愛されたかったのです。彼は他者に愛の定義を任せ、それで納得できると期待していました。しかし、愛が何なのかわからなかった人や愛を必要としていた人は彼だけではありませんでした。この歌はすぐ世界的な大ヒットとなり、世界中の人々がこの曲を書いた人と同じように感じていたのだとはっきりしたのです。それは、愛についてよくわからないけど、愛が欲しくてたまらない、ということです。

何千もの詩人や哲学者、芸術家、作家、人類学者、社会学者が「愛」を理解しようとしている中、キリスト教はすでに応えを出しています。「愛とは何か」という問いに対しては、神は際立って美しい聖句で答えてくださっています。

10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なぐさめのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。(ヨハネの手紙第一 4 章 10 節)

キリスト教では、愛を定義するのは、人ではなく、神がするものです。神の愛はまったく別のものです。神は死をもって、完璧な愛を示されました。そうです。人類に対する神の愛は、十字架で死んだ御子の死において、もっとも見て取れるものです。イースターは、神の子イエスキリストの死と復活についての話ですが、とりわけキリスト教においては、愛についての話なのです。

神様の愛について3つのこと：

1. 神の愛は神聖なもの。なぜイエスは死んだのか？
2. 神の愛は惜しめない。何がイエスを死に突き動かしたのか？
3. 神の愛はすべてを変える。イエスの復活は何を成し遂げたのか？

1. 神は聖なる存在であるため、神に関するすべてのものは神聖なもの。神の愛、神の言葉は神聖なものである。

神の臨在の中でのみ、聖というものは存在することができます。この世界で、人はだれしも聖なるものではないというは確かです。私たちは欠けがあって不完全な存在です。聖書はこの普遍的な状態を、「罪」と呼びます。罪とは聖書からきている言葉で、神の基準に達していないということです。言い換えれば、神は完璧なのです。私たちは完璧に生きるよう神に召されていますが、私たちはそのように生きることは不可能なのです。私たちは皆、「悪」がこの社会に何を及ぼしているかを知っています。虐待されていたり、強盗に合った知人がいるかもしれません。ひどい扱いを受けていたり、不当に傷つけられている人が身近にいるかもしれません。このように世界中で罪が表面化しています。そして聖書は私たちの内面、すなわち心の内側にも罪が存在していると言っています。嘘をつくこと、嫌悪、噂話、妬み、怒り、裏切り…。誰も完璧ではなく、だれもが罪を犯します。罪は神から人類を遠ざけ、また人々も互いから離されるのです。

罪は自分自身と周囲の人を傷つけます。罪を自分たちで取り除くことは難しいのです。聖書により、私たちは、原罪（アダムが善悪を知る知識の木の実を食べ、神に反逆した罪）について、その罪の影響、そしてその解決方法を学ぶのです。罪は神の善に対する道徳的攻撃であり、神のみが解決策を示すことができます。私たちは罪という問題を作り出してしまいましたが、神はそれを解決してくださいます。神の一人子であり完璧な存在のイエスキリストの死をもって。罪に対する解決策とはイエスのことです。悪のもたらす道徳的な問題には、はるかに道徳的に善良である神よってのみ解決できます。イエスが処女よりこの世に生まれたのを祝うのがクリスマスです。そしてイエスは、人々へ宣教し、病人を治した後、33歳の時十字架に掛けられ、血を流され、呼吸が止まって死なれました。イエスは洞穴に埋葬されました。そして死から3日後イエスは蘇り、再び呼吸を始めました。死は神の子には無力でした。死は敗北したのです。罪はつぐなわれました。そしてイエスは勝利を得た、私たちの救い主なのです。イエスのみが、神と人類との関係、人と人との関係を解決する力をもったお方なのです。

それなら、なぜイエスは死ぬことになったのでしょうか？端的に言えば、イエスは私たちの罪のために死んだのです。神は聖なるものですが私たちは違います。神はこの世に一人子を送られ、その死を通じて、人類は再び神との関係を取りもどしたのです。神の聖なる愛は人間の罪深い心を救ってくださいます。神がイエスの死を計画され、イエスは自ら進んで受け入れました。なぜならこれは、イエスにしかできないことだったからです。世界史上このような死はありません。

2. 神の愛は惜しめない。別の言葉でいうと、寛大であるということ。自らの命を犠牲にして、ささげるということを、なぜイエスは決意したのか？

それは更なる愛でした。毎年春のイースターに、クリスチャンは歴史上もっとも意義深い死を思い出します。神の子であるイエスの死です。2000年前の中東、ゴルゴダという丘で、神の子であるイエスは死にました。とても痛みを伴う死でした。イエスは拷問され、あざ笑われ、拒絶され、神であるにもかかわらず侮辱を受けました。聖書には、イエスは罪をその身に負われた、とあります。けれども、神はその間もずっとイエスを愛しておられたのです。神は、母親が赤ん坊を愛する以上に、御子を愛しておられました。そして妻が夫を愛する以上に。そして父である神はイエスのためにそこに介入することもできましたが、もしそれをしてしまったら、人間は罪への解決策を二度と得ることはできなかったでしょう。

人類の罪への解決方法として、ほかの方法はなかったのだろうか、と疑問に思うかもしれませんが。答えはNOなのです。ありませんでした。もしあったとしたら、神は御子を犠牲に捧げず、そちらを選んだでしょう。十字架にかかってイエスが死ぬことが唯一の解決策だったのです。イエスのみによって、人々の罪は赦され、人と神との関係を修復できる唯一の方法なのです。イエスの壮絶な死で、人類の償いきれない大きな罪の代価が支払われ、それによって人は、キリストとともに歩む喜びの命を得ます。ほかの方法ではこんなに大きなことはとうていできません。

なぜ神は人の為にそのようなことをされたのか？答えは、もっとも美しく、他の宗教にはない、かなり独特な理由—愛です。神の愛は、素晴らしく、貴重で、惜しめない、慈悲深く、赦しをあたえ、さらに円熟した—そのような愛なのです。キリスト教でのみ、私たちは神が人類をとっても愛してくださっていると聞きます。それゆえ、一人子のキリストを死に差し出し、そうすることで、人は赦しを得、神との関係を修復し、そして永遠の命を得るのです。イエスの死は、神が人間を愛しているという宣言なのです！ 神は喜び、やさしさ、完全な善を人々に表されますが、神の愛は感情だけではありません。神の愛は行動をとともないます。イエスはただ単に、人々を愛している、と言われただけではありません。彼の人生をかけてそれを見せてくださったのです。世界を救うために、他の誰が自分の子供を差し出すでしょうか？人類の為に子供と離れる母親がいるのでしょうか？神のみができ、そして実際にそうされたのです。神の愛は確固たるもので、決して変わるものではないのです。神が愛し始めたら、その愛は、永遠に続きます！これがキリスト教における愛です。私たちがまず神を愛したのではなく、神が先に私たちを愛してくださいました。そしてあなたや私へ注がれた神の愛は、私のすべての罪のため、そして神を信じる者のた

めに、御子イエスが死なれた十字架において示されたのです。神の愛はもっとも大きな愛なのです。

3. イエスの復活は何を成し遂げたのか？ 神の愛はすべてを変える。

ある日、私はイースターの話外国人の女性たちのグループに教えていました。なぜイエスは死に、いかに苦痛をともなったか、そしてその死がキリスト教においていかに大切なものであるかを話していました。すると一人の生徒が質問しました。「なぜクリスチャンは、死んだ神を礼拝するのですか？」そう、私はこの点について詳しく説明しそびれていました。そうです。イエスは死に、3日間埋葬されていました。しかしその後、とてつもない出来事が起こったのです。イエスが生まれるよりも前に、聖書で言及されていた出来事です。死から3日後、イエスはよみがえられたのです。クリスチャンはこのことを「復活」と呼びます。死から生き返るということです。イエスがよみがえられなければ、彼の死は他の死となんら変わりはありません。キリスト教において、イエスの復活が示していることは、イエスは神であり、キリスト教は真実であるということです。そして、イエスに従う人間の魂に、罪は永久的に力を持たないのです。

イエスの別の名前は、「救い主」です。イエスは人類を罪から救いました。誰でもイエスを心にお迎えできます。イエスは彼を信じて従うよう、すべての人を招いています。罪から救われ、赦されるための唯一の方法は、イエスを信じて従う事です。イエスを通じてでしか、神とともに生きる方法はありません。

そこで結論として、イエスは人類の罪のため、死ぬために来たのです。死を決心したのは、愛のためでした。そしてイエスの復活によって、人類は罪が許され、神との関係を修復する確かな方法を得たのです。神の愛は、他とは違います。このイースターの時期とそしてその後も、キリストの愛で祝福を、あなたが受け入れられるよう祈ります。

クリスチャンの間では、イースターに、「Christ is risen!(キリストは蘇った!)」という
と、別の人が「He is risen indeed! (確かに蘇った!)」と答えることがよくあります。フレンドシップインターナショナルの友人より、恵みあるイースターお祝い申し上げます。
「Christ is risen! (キリストは蘇った!)」